

校歌

三、すこやかに さちあれや 雨に風に 晴のゆくて いざ友よ 伸びなんわれら	し 母校たるみ 母校たるみ	二、つちかわん したしめや 朝に夕に うまはげま 母校たるみ	し 母校たるみ 母校たるみ	一、めぐらせる 見はるかす 空は清く めぐみゆた 母校たるみ	みどりの丘よ ちぬの浦わ 天地の ああうれ
--	---------------------	--	---------------------	--	--------------------------------

1. めぐ - らせ - る みどりのおかよみ
は - るか - す ちぬのうらわそら
は - きよ - く あめ - つちのめ
ぐみゆたか - - にあ あうれしほこ
うたるみほこうたるみ

校章の由来



いかりは、垂水の「垂」という字を、模様の形にしてあらわしています。海の底深くいこんで、どしりと揺れ動かない態度を示しています。

上の星は、澄み切った夜の空に、いつまでも光り輝く姿をあらわしています。明治41年に決められた校章です。